

ルクセンブルク経済・金融情勢（2012年2月）

【トピック】

- ・ エティエンヌ・シュナイダー氏が経済・通商大臣に就任した。
- ・ 高度な技能を有する域外国国民に「ブルーカード」を付与することでEU内の労働市場へのアクセスを容易にする欧州指令を国内法化する法律が当国官報(Memorial)で公布された。
- ・ 偽造品の取引の防止に関する協定（ACTA）に対する反対デモ行動が行われた。
- ・ フリーデン財務大臣が米国訪問。米国外国口座税務コンプライアンス法（FATCA）やボーカー・ルール等につき、関係者と協議した。

1. 製造及び建設セクター

製造セクター

2011年の年間工業生産は前年より3.6%低下。ユーロ圏全体では3.5%増加しており、減少したのは17か国中6か国（当国含む）のみ。第4四半期の鉄鋼生産は、工場数か所の部分閉鎖を受けて大きく減少したが、第1及び第3四半期の収益が好調だったため年間では5%の増加となった。2011年に大きく後退したのは製紙・印刷（▲49%）、化学（▲38%）、ガラス・陶器製造（▲13%）、プラスチック製品（▲10%）等。

建設セクター

2011年の建築セクターは比較的良好で、稼働日あたりの生産は年間で2.7%上昇している。従業員数は前年より1.9%減少した。最近の景気動向調査によると、業況は悪化傾向を示してはいるものの、良い状況が続いている。

2. 金融セクター

- (1) 12年1月末現在銀行資産残高は8,000億ユーロ。
- (2) 12年2月末現在銀行数は143行。
- (3) 12年2月末現在投資信託残高は2兆2032億ユーロで、前月比2.14%増。

3. 雇用情勢

- (1) 12年2月の季節調整済み失業率は5.9%（推計値）。
- (2) 11年12月以来失業率は5.9%で高止まりしている。これは雇用の拡大が失業者の増加に追いついていないためである。2012年初めの失業者数は11年初めに比べ約10%増加している。30～39歳の男性で、初めて失業の登録をする人の増加が目立つ。

4. インフレ

- (1) 12年2月のインフレ率は3.0%（前月同2.9%）。
- (2) 12年初めは、水道料金が平均3.7%程度上昇したことを除いては、公共料金等はほとんど上昇しておらず、インフレ率の上昇の原因とはなっていない。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。